

令和2年度 第2四半期（2020年7月～9月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=25 事業所(回答率 100%)

2. 調査対象期間

今期=2020年7月～9月

- ・前年同月比=前年同期(2019年7月～9月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2020年4月～6月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2020年10月～12月)の見通し

3. 調査期間 2020年9月11日～9月28日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲48.0 で、業種別にみると「建設業」が▲19.8 で最も高く、「サービス業」が▲40.0 で続いている。

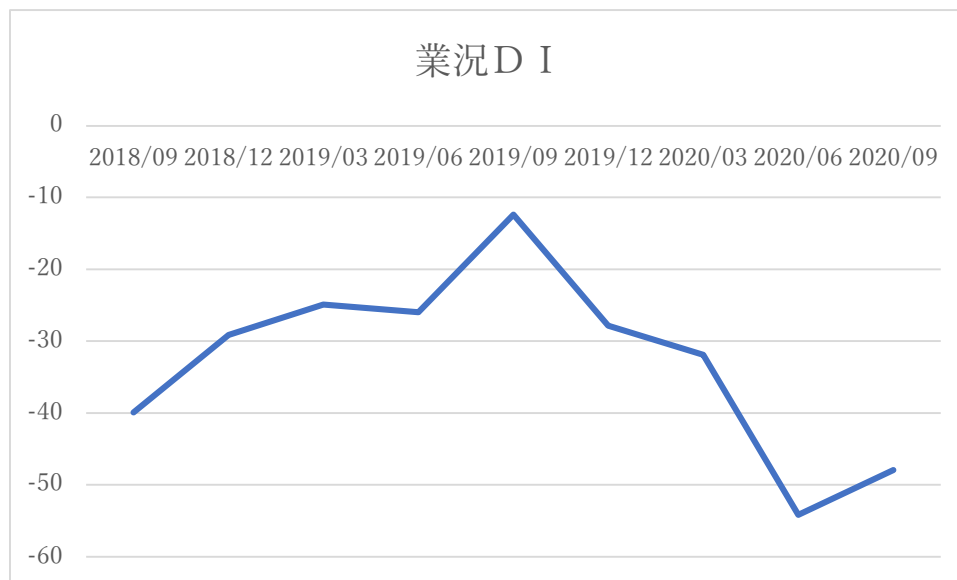
先行きは 4.0p改善の▲44.0 で、業種別では「建設業」「卸売業」で改善、「サービス業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2020年 4～6月期 (前回調査)		2020年 7～9月期 (今回調査)		2020年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲54.2	↘	▲48.0	↗	▲44.0	↗
建設業	▲40.0	↘	▲19.8	↗	0.0	↗
製造業	▲60.0	→	▲60.0	→	▲60.0	→
卸売業	▲40.0	↘	▲60.0	↘	▲39.8	↗
小売業	▲60.0	↘	▲60.0	→	▲60.0	→
サービス業	▲75.0	↘	▲40.0	↗	▲60.0	↘
(参考)全国全産業	▲62.8	↘	▲56.5	↗	▲44.0	↗
(参考)東北全産業	▲68.5	↘	▲62.7	↗	▲54.8	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



(2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲55.9で、業種別にみると「建設業」「サービス業」が▲39.8で最も高く、「製造業」が▲59.8で続いている。

先行きは11.9p改善の▲44.0で、「建設業」「卸売業」で改善、「製造業」「小売業」で減少となっている。

図表2 売上高DI

	2020年 4~6月期 (前回調査)		2020年 7~9月期 (今回調査)		2020年 10~12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲54.1	↘	▲55.9	↘	▲44.0	↗
建設業	▲60.0	↘	▲39.8	↗	0.0	↗
製造業	▲60.0	→	▲59.8	↗	▲60.0	↘
卸売業	▲20.0	↘	▲80.0	↘	▲40.0	↗
小売業	▲60.0	↘	▲60.0	→	▲80.0	↘
サービス業	▲74.8	↘	▲39.8	↗	▲39.8	→
(参考)全国全産業	▲61.1	↘	▲55.8	↗	▲42.7	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

(3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲44.0で、業種別にみると「建設業」が▲20.0で最も高く、「製造業」「サービス業」が▲60.0で続いている。

先行きは4.0p悪化の▲48.0で、「卸売業」で改善、「製造業」「サービス業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	2020年 4~6月期 (前回調査)		2020年 7~9月期 (今回調査)		2020年 10~12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲45.8	↘	▲44.0	↗	▲48.0	↘
建設業	▲20.0	↘	▲20.0	→	▲20.0	→
製造業	▲60.0	→	▲40.0	↗	▲60.0	↘
卸売業	▲20.0	↘	▲60.0	↘	▲40.0	↗
小売業	▲60.0	↘	▲60.0	→	▲60.0	→
サービス業	▲75.0	↘	▲40.0	↗	▲60.0	↘
(参考)全国全産業	▲59.6	↘	▲51.4	↗	▲43.2	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲20.0で、業種別にみると「建設業」が0.2で最も高く、「卸売業」が0.0で続いている。

先行きは横ばいの▲20.0で、全ての業種でほぼ横ばいとなっている。

図表4 資金繰りDI

	2020年 4～6月期 (前回調査)		2020年 7～9月期 (今回調査)		2020年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲25.0	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
建設業	0.0	↗	0.2	↗	0.0	↘
製造業	▲40.0	↗	▲60.0	↘	▲60.0	→
卸売業	▲20.0	↘	▲20.0	→	▲20.0	→
小売業	▲40.0	↘	0.0	↗	0.0	→
サービス業	▲25.0	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲36.0	↘	▲27.6	↗	▲25.8	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲8.0で、業種別にみると「小売業」が0.2で最も高く、「建設業」「製造業」が0.0で続いている。

先行きは4.0p改善の▲4.0で、「卸売業」で改善、その他の業種でほぼ横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2020年 4～6月期 (前回調査)		2020年 7～9月期 (今回調査)		2020年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲12.5	↘	▲8.0	↗	▲4.0	↘
建設業	0.0	→	0.0	→	0.0	→
製造業	0.0	↗	0.0	→	0.0	→
卸売業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	0.0	↗
小売業	▲20.0	↘	0.2	↗	0.2	→
サービス業	0.0	↗	▲20.0	↘	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲16.8	↗	▲20.5	↘	▲19.1	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は▲3.6で、業種別にみると「建設業」「卸売業」「サービス業」でやや不足、「小売業」で過剰となっている。

先行きは0.1p悪化の▲3.7で、「建設業」で悪化、その他の業種で横ばいとなっている。

図表6 従業員DI

	2020年 4～6月期 (前回調査)		2020年 7～9月期 (今回調査)		2020年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲8.1	↘	▲3.6	↗	▲3.7	↘
建設業	0.2	↘	0.8	↗	0.6	↘
製造業	▲20.0	↘	0.0	↗	0.0	→
卸売業	0.0	↘	0.2	↗	0.2	→
小売業	▲19.6	↘	▲19.8	↘	▲19.8	→
サービス業	0.5	↘	0.6	↗	0.6	→
(参考)全国全産業	▲2.1	↘	0.9	↗	3.9	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
技術者不足のため、新規工事が受注できない。	建設業
秋から年末の需要に期待したい(GO TOキャンペーン等政府対策含め)。	卸売業
来店客数減少。	小売業
コロナウイルス感染症が影響。ワクチンが早めに作られないと大変です。	サービス業
従業員不足です。	サービス業